



お米の未来のために、 何ができる?

様々な課題に直面する日本の米作り。
私たちの「食」にとって、他人事ではありません。

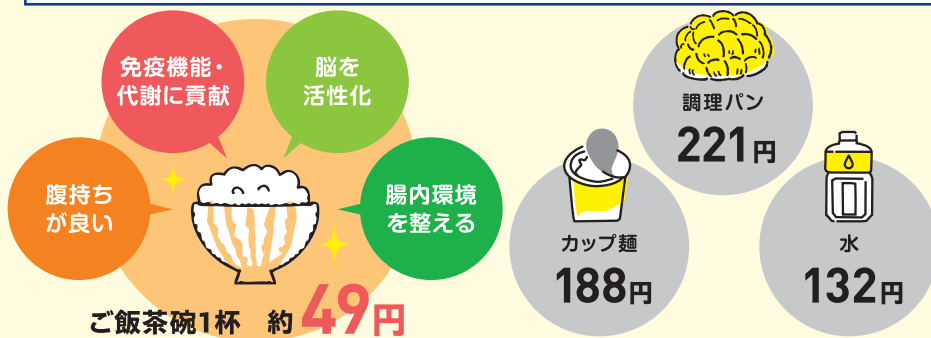
日本のお米は今、様々な課題に直面しています。一つは米作りのコストの上昇です。肥料や燃料などが高騰し、農家の経営を圧迫しています。また農家の減少と高齢化によって、水田を維持する労力も大きな負担に。さらに鳥獣被害や温暖化対策などの負担も増加しています。厳しい状況にある米作りの現場にとって、皆さんがお米を食べることは何よりの応援になります。

お米の生産をとりまく課題



生産コストの上昇などで、お米の値段は上がっていますが、他の食品と比べるとまだまだ値ごろだと言えます。さらにお米は栄養バランスにも優れています。健やかな食生活のために、まずは食べることから始めませんか。

お米って、実はコスパがいい!



※2024年12月時点の総務省小売物価統計調査結果に基づく ※ご飯茶碗1杯は150g、菓子パンは100g、カップ麺は1個、水は2Lの値段
※ご飯茶碗1杯の値段は、150gのご飯を炊く前の精米を65gとして計算

専門家による
ワンポイント
解説

私たちが、自分なりの想いをもってお米を選ぶことが、
米作りを応援することにつながります。

お米には多様な産地があります。インターネットが発展している現代では、お米に関する様々な情報を受け取ることができます。その中で、お気に入りの地域のお米を選ぶ、環境に配慮したお米を選ぶ、輸入米に頼ることに違和感を持つなど、私たちが自分なりの

想いを持ってお米を選ぶことが、米作りへの応援となり、未来に「食」の安心をつなげていくことになります。



農業経済学者
おがわ まさ ゆき
小川 真如先生



耕そう、大地と地域の未来。JAグループ